

患者さんへ

札幌市 ACS ネットワークにおける循環器救急搬送患者の実態調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

循環器救急疾患として、2013年4月1日以降に当院へ救急車で搬送された/される方

2. 研究目的・方法

札幌市の循環器救急搬送患者の搬送・診断・治療内容・転帰に関する実態調査により、今後の ACS ネットワーク活動内容の改善とさらなる治療成績の向上を図ります。

[研究実施期間]

2021年4月1日～2035年3月31日（登録締切日：2030年3月31日）

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

救急搬送情報：年齢、性、発症日時、救急隊覚知時刻、現場到着時刻、現場出発時刻、病院到着時刻、主訴、発症状況・発症場所、接触時状態（意識、呼吸、脈拍、血圧、目撃の有無）、心肺停止の有無、バイスタンダーによる心肺蘇生状況、自動体外式除細動器使用状況、救急隊処置情報（心電図モニター実施の有無・所見、心電図伝送実施・確認の有無、心肺蘇生の有無・開始時刻、気道確保の有無・方法・開始時刻、除細動の有無・時刻・結果、静脈確保とアドレナリン投与の有無）等

カルテ情報：患者基本情報：主病名、副病名、入院の有無、収容時バイタルサイン（身長、体重、意識、呼吸、酸素分圧、脈拍、血圧、体温、心筋梗塞重症度分類）、血液検査

急性期治療内容：緊急冠動脈造影の有無・開始時刻、穿刺部位、冠動脈病変枝数と責任病変、緊急冠動脈インターベンションの有無・治療開始時刻・再疎通時刻、最終冠動脈血流、緊急手術の有無、補助循環の有無・種類、人工呼吸の有無、血液浄化の有無・種類、ペーシングの有無、投与薬剤

転帰情報：退院日あるいは院内死亡日（死亡場所、死因）等

5. 外部への情報の提供

札幌市 ACS ネットワーク事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。札幌市 ACS ネットワーク事務局では個人が特定されない状態で管理されます。（管理責任者：札幌市 ACS ネットワーク学術委員長 永井利幸、データ入力委託先：株式会社シャイニング）

6. 研究組織

共同研究機関名	研究責任者名	共同研究機関名	研究責任者名
国立病院機構北海道医療センター	竹中 孝	市立札幌病院	牧野 隆雄
札幌厚生病院	五十嵐 康己	カレス記念病院	丹 道直
札幌中央病院	櫻田 卓	NTT 東日本札幌病院	乗安 和将
KKR 札幌医療センター	神垣 光徳	JCHO 北海道病院	高橋 将成
北海道循環器病院	堀田 大介	愛心メモリアル病院	岡本 洋
勤医協中央病院	鈴木 隆司	札幌心臓血管クリニック	藤田 勉
札幌東徳洲会病院	山崎 誠治	-	-
札幌孝仁会記念病院	山下 武廣	手稲溪仁会病院	川初 寛道
北成病院	棚澤 哲	新札幌循環器病院	山田 陽一
天使病院	西村 光弘	JCHO 札幌北辰病院	北 宏之
JR 札幌病院	長谷川 徹	札幌循環器病院	善岡 信博
札幌禎心会病院	長谷 守	華岡青洲記念心臓血管クリニック	華岡 慶一
斗南病院	松井 裕	北海道大学病院	安齊 俊久
札幌医科大学附属病院	古橋 真人	札幌整形循環器病院	川嶋 望
札幌白石記念病院	森田 亨	札幌徳洲会病院	竹之内 豪

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：札幌東徳洲会病院 循環器内科 山崎 誠治

住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号

電話番号：011-722-1110（代表）

研究代表者：北海道大学病院 循環器内科 准教授 永井 利幸